

宮谷小学校



③

「見ることにむずかしさや困り感がある方の気持ちや工夫を知ってもらおう」ためにイベントをしました。

9月23日 ふれみや祭り



ふれみや祭りでは、点字体験や、ボッチャの体験、目を隠してやるミニ迷路などをやりました。見ることに困り感やむずかしさがある方の気持ちを少しは知ってもらえたと思います。

11月10日 西区民祭り



西区民祭りでは、ふれみやまつりの時のことを活かして参加！学校の先生や地域の人たち、横浜市の市長も来てくれました。西区民祭りを通して、私たちの活動は、多くの人に伝わりました。

Hand-drawn green speech bubbles with feedback:

- 「むずかしいよ！」
- 「たくさん来てくれた！」
- 「どうもありがとう！」
- 「もっとたくさんの人にきてもらいたい！」
- 「いばんさんが来てくれたけど、いばんさんがきてなかったらよかった。」
- 「市長が来てよかったよ！」
- 「ふれみや、西区民祭りでは、たくさんの人に会うことにこまり感があるか気づいてもらえた！」

12月19日 ♡ 「思いやり」が大切！

全盲の小泉さんが学校に来て、何かが不自由な人が問題なのではなく「しょうがい」を作っている環境が問題ということをお話してくれました。

例えば、段差の所に「スロープ」が無いと、見ることに難しさがある方や車椅子の方が困ってしまいます。そのような設備は「しょうがい」になります。

本をあった場所に戻す、話をするなら邪魔にならない場所で話をするなどを意識すると周りの人の「しょうがい」はなくなることを教わりました。私たちに「思いやり」があれば、たくさんの人の「しょうがい」を無くしていくことができます。

私たちMAKsでは、「思いやり」を大切にしていきたいです！

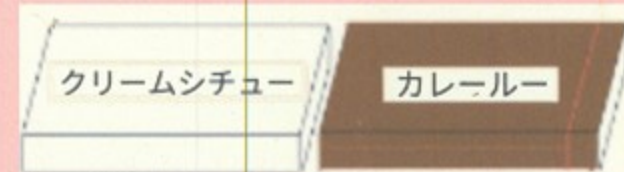


Hand-drawn green speech bubbles with feedback:

- 「しょうがいをなくすには「思いやり」が大切！」
- 「たくさん人が来てくれた！その分は私にしてみたい！」
- 「次にかきたい！」
- 「小泉さんでいいから「思いやり」はいいよ！」
- 「しょうがいは、障があるものではない！障があるものは、しょうがいが無い！しょうがいは、心のこもったこと！」
- 「小泉さんからいろいろな話を聞けたよ！」
- 「小泉さんが色んなことを教えてくれた！次にかきたい！」

小泉さんはバリアフリーやユニバーサルデザインに限らず、自分で普段から工夫をしているそうです。

例えば、「カレールー」と「クリームシチュー」



の箱の区別がつかなくなかったら、輪ゴムを使って手で触ったらどっちかわかるなど工夫をしています。